年齢別ガイドブック

筑後市立図書館

おすすめの絵本・児童書



0歳のあかちゃんに おすすめの絵本



●くだもの

平山和子/さく 福音館書店 すいか、もも、ぶどう、りんごなど、子どもた ちが食べる果物がまるで実物かと思うほど鮮や かに描かれ、「さあ、どうぞ」とさしだされます。 (1981年)



●がたんごとんがたんごとん

安西水丸/さく 福音館書店がたんごとんと、海辺を走る汽車。走っていくと、アイスクリームとスプーンが「乗せてください」と声をかけました。目的地はどこでしょう?

(1987年)



●いないいないばあ

松谷みよ子/文 瀬川康男/画 童心社 ねこやくまやねずみが登場して「いない いない・・・」と言ってページをめくって「ばあ」 と繰り返す絵本です。優しい色調で赤ちゃんで も理解できます。

(1967年)



●はみがきあそび

きむらゆういち/さく 偕成社 小さい時の習慣は一生つづきます。食事のあと はすぐはみがき。あそびながら、生活のリズム を覚える絵本。

(1998年)



●いないいないばああそび

きむらゆういち/さく 偕成社 おかあさんと子どものあいだでくりかえされて きた 「いないいないばあ」を、ゆかいな遊びの 絵本にしました。こいぬのコロも、ねこのミケも、みんなで 「いないいないばあ!」 (1988年)



●ばいばい

まついのりこ/さく 偕成社 ひよこ、ぞう、うさぎなど大好きな動物たちが 「こんにちは」「ばいばい」とごあいさつ。 初めて出会う絵本にぴったりです。 読む月齢で赤ちゃんの成長が分かる絵本です。

(1983年)



●くっついた

三浦太郎/作・絵 こぐま社 ページをめくると…くっついた! その繰り返し が楽しい赤ちゃん絵本。最後は赤ちゃんのほっ ペを挟んでお父さん、お母さんとくっついた! (2005年)



●ぴょーん

まつおかたつひで/作・絵 ポプラ社 かえるが、ぴょーん。いぬが、ぴょよよーん。 ばったが、ぴょーん。 いろいろな生き物がとび はねる様子を描いた絵本。

(2000年)



●でてこいでてこい

はやしあきこ/さく 福音館書店 だれかかくれてるよ、でてこい、でてこい。ど んな動物がかくれているのかな。赤ちゃんや小 さな子が、色やかたちを楽しめる絵本。

(1998年)



かんざわとしこ/文 やぶうちまさゆき/え 福音館書店

「どこにいるの?」の呼びかけに、お母さんの陰に隠れていた動物の赤ちゃんたちが顔をのぞかせます。 みんな幸せそう。

(2003年)



●おつむてんてん

なかえよしを/作 上野紀子/絵 金の星社 さっちゃんが、おつむてんてん。おくちは、あ わわ。それをみていた、にゃんこがまねた。お つむてんてん、おくちは…。

(1980年)



●いいおかお

松谷みよ子/文 瀬川康男/画 童心社 ふうちゃんが、いいおかお。ねこも、いぬも、 まねっこして、いいおかお。ぞうさんまでやってきて…? (1967年)



●もうねんね

松谷みよ子/ぶん 瀬川康男/え 童心社 いぬもねんね、ねこもねんね、めんどりも、ひ よこも、モモちゃんもねむたいよう。 みんなもいっしょにおやすみなさい。 (1968年)



●だるまさんが

かがくいひろし/さく ブロンズ新社 どてっ。ぷしゅーっ。だ・る・ま・さ・ん・が …頁をめくって、あらら、びっくり、大わらい。 とびきりゆかいなだるまさんの絵本。 (2008年)



●赤ちゃんのためのことばの絵本

桑原伸之/さく あすなろ書房
「ころころ」「ゆらゆら」など、擬音のおもしろ
さを伝える絵本。あざやかな絵と、音の響き、
リズム、くり返しのおもしろさが楽しめます。
(2002年)

1歳のあかちゃんに おすすめの絵本



●きんぎょがにげた

五味太郎/作 福音館書店 きんぎょが1ぴき、金魚鉢からにげだした。どこににげた?ページをめくるたびに、にげたきんぎょがどこかにかくれています。子どもたちが大好きな絵探しの絵本。

(1982年)



●おにぎり

平山英三/文 平山和子/絵 福音館書店 ごはんをたいて、手の平に水をつけて、塩をつ けて、あつあつごはんをぎゅっ、ぎゅっ。さい ごに海苔を巻けば、おにぎりのできあがり。は い、どうぞ。

(1992年)



●やさいだいすき

柳原良平/作・絵 こぐま社だいこん、にんじん、たまねぎ、じゃがいも…。 切り絵で表現した野菜たちはみんな元気いっぱい! 誇らしげな顔で語りかけてきます。

(2004年)



●ぎゅっ

ジェズ・オールバラ/作・絵 徳間書店 お散歩していたジョジョくん、みんなが「ぎゅっ」としているのをみて、ママが恋しくなりました。 思わず、ぎゅっとしたくなる絵本。 (2000年)



●どんどこももんちゃん

とよたかずひこ/さく・え 童心社 どんどこ どんどこ どんどこ せんどこ ももん ちゃんがいそいでいます。そんなにいそいでど こにいくの? (2001年)



●バナナです

川端誠/作 文化出版局 木になっている青いパナナ、黄色くなったお店 のパナナ、皮をむかれたおやつのパナナ、パナ ナにも、いろいろな状態のときがあります。 (1984年)



●おつきさまこんばんは

林明子/さく 福音館書店 空のお月様が遠くにいったり、近くに来たり。 にっこり笑顔で「こんばんは」。おうちのやねに のぼる小さなねこが子どもたちは大好きです。 (1986年)



●おひさまあはは

前川かずお/作・絵 こぐま社 「おひさまが あはは」。ページをめくれば、お 花、子犬、魚など、みんなみんな「あはは」と 笑顔にあふれています。声に出して読んでいる うちに、元気が出てくる絵本です。 (1989年)



●おててがでたよ

林明子/さく 福音館書店 すっぽりかぶった服から「ぱっ おててが でた よ」自分で洋服を脱ぎ着できるようになるのは 難しいこと。一つずつ確認しながら、一生懸命 服を着て、できるたびに喜ぶ表情豊かな絵本。 (1986年)



●ねないこだれだ

せなけいこ/さく・え 福音館書店 こんな時間におきているのは、だれだ?ふくろ うに、どらねこに、どろぼう・・・そうら、も うおばけの時間なのに・・・・・。 いやだい やだの絵本シリーズ。

(1969年)



●たべたのだあれ

五味太郎/さく 文化出版局 「めだまやき たべたの だあれ」あてっこが 楽しい絵本。新趣向にあふれる『どうぶつあれ あれえほん』です。

(1977年)



●赤ちゃんのためのかたちの絵本

桑原伸之/さく あすなろ書房 まる、さんかく、しかく、ぐにゃぐにゃ? 形をテーマにした楽しい絵本。「赤ちゃんのため の絵本シリーズ」(全3巻) 完結編。 (2005年)



●おふろでちゃぷちゃぷ

松谷みよ子/ぶん 岩崎ちひろ/え 童心社 あひるちゃん、どこいくの? あれ、タオルをもって、どこいくの? いいとこいいとこ。わかった! おふろだ! グワッグワッ そうだよ はやく おいで~。 (1970年)



●くつくつあるけ

林明子/さく 福音館書店 「くつくつ あるいた ぱた ぱた ぱた さんぽに おでかけ」とあかちゃんがはく、やわらかそうで小さな靴がお出かけします。「とんとん とん」とつまさきで歩いて…。 (1986年)



●かおかおどんなかお

柳原良平/作・絵 こぐま社 楽しい顔、泣いた顔、眠った顔、たくましい顔、 すました顔…。さまざまな顔の表情を切り絵で 表現。赤ちゃんはもちろん、幼児も絵を見なが ら百面相をして楽しめる絵本。

(1988年)

2歳のあかちゃんに おすすめの絵本



●しろくまちゃんのほっとけーき

わかやまけん/絵 森比左志・わだよしおみ/文 こぐま社

しろくまちゃんがホットケーキを作ります。卵を割って、牛乳を入れて…。見開きいっぱいに描かれたホットケーキの焼ける場面は、子どもたちに大人気。

(1972年)



●たまごのあかちゃん

かんざわとしこ/ぶん やぎゅうげんいちろう/え 福音館書店

「たまごのなかでかくれんぼしているあかちゃんはだあれ?でておいでよ」と呼びかけると、 卵の中から次々と赤ちゃんが出てきます。リズミカルな文と、ユーモラスな絵が楽しい絵本。 (1993年)



●さつまのおいも

中川ひろたか/文 村上康成/絵 童心社 人間に食べられてばかりのおいもにだって、 少しは考えもある。土の中で体をきたえ、さあ 逆襲だ。

(1995年)



●くろねこかあさん

東君平/作 福音館書店 6匹の子どもを育てる黒猫かあさんは大奮闘。 その様子を白と黒の色の対比を生かした切り 絵の手法で展開した絵本です。リズミカルな言葉がいっそう楽しさをふくらませてくれます。 (1990年)



●はけたよはけたよ

神沢利子/文 西巻茅子/絵 偕成社 たつくんはひとりでパンツがはけないんだよ。だって、ふらふらするんだもん。裸で外へでてみんなに笑われたたつくんが考えたいい方法とは? (1970年)



●ちびゴリラのちびちび

ルース・ボーンスタイン/作 ほるぶ出版 ジャングルに生まれたゴリラは、仲間の動物たちみんなに好かれています。森の動物たちとちびゴリラの交遊をユーモラスに描いています。 (1978年)



●タンタンのハンカチ

いわむらかずお/作 偕成社 おまじないでどんどん大きくなる赤いハンカチ。ネクタイから大きなマントまで?タンタン は次々と楽しい遊びを考え出します。

(1981年)



●くまさんくまさんなにみてるの?

エリック・カール/絵 ビル・マーチン/文 偕成社

鮮やかな動物たちと子どもの間に会話がはずみます。 問答遊びを発展させながら、身近な動物と 色彩の感受性を豊かに育む絵本。

(1984年)



●きょうはみんなでクマがりだ

マイケル・ローゼン/再話
ヘレン・オクセンバリー/絵 評論社
この絵本は、子どもたちのあそび歌が、もとになっています。 文を読みながら、同じような動作---草をかきわけたり、川をわたったり、---をしてあそべます。 ご家族のみなさんで楽しんでください。 (1991年)



●わにわにのおふろ

小風さち/文 山口マオ/絵 福音館書店 きゅるりきゅるりきゅるり、わにわには蛇口を ひねります。じゃばじゃばじゃば、お湯がたま ります。そしてお風呂によじのぼります。お風呂 が大好きなわにわにの絵本。

(2004年)



●おやすみなさいおつきさま

マーガレット・ワイズ・ブラウン/さく クレメント・ハード/え 評論社 おおきなみどりのへやのなか。こうさぎがベッドにはいり、ねむりにつくところ。こうさぎは、ふうせんやてぶくろなど、へやのなかのすべてのものに「おやすみなさい」と語りかける。 (1979年)



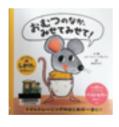
●み~んなあくび!どんなあくび?

アニタ・ピスタボジェ/文・絵 パイインターナショナル こねこ、へび、あらいぐま、うさぎ…。 みんな、 どんなあくびをするのかな? 「あくび」や「ねんね」をテーマにした寝かしつけ絵本。 (2019年)



●うずらちゃんのかくれんぼ

きもとももこ/さく 福音館書店 うずらちゃんとひよこちゃんがかくれんぽをは じめました。お花のかげに隠れたり、へちまのか げに隠れたり、きのこのかげに隠れたりしてい るうちに、雨が降ってきました…。 (1994年)



●おむつのなか、みせてみせて!

ヒド・ファン・ヘネヒテン/ぶん・え パイインターナショナル

おむつをめくるしかけを楽しみながら、動物の うんちの違いを知ることができる絵本。トイレ トレーニングのはじめの一歩に役立ちます。 (2018年)



●はらぺこあおむし

エリック・カール/作 偕成社 あたたかい日曜日の朝、ぽん! とちっぽけなあ おむしがうまれました。 あおむしはおなかが ぺっこぺこ。 数や曜日の認識をおりこんだ、食い しん坊あおむしの穴あき絵本。

(1976年)

音が楽しい絵本・ わらべ歌



●もこもこもこ

谷川俊太郎/作 元永定正/絵 文研出版 「しーん、もこもこ、にょきにょき」とふくれ あがったものは、みるまに大きくなってパチン とはじけた。詩人と異色の画家がおりなす不思 議でおかしな絵本の世界。

(1977年)



●ごぶごぶごぼごぼ

駒形克己/さく 福音館書店 ぷくぷくぷくん ごぶごぶ ごぼごぼ じゃわじゃ わじゃわ… いろんな水の音。 いったい何がいるん だろう。 どんなことがおこっているんだろう。 (1999年)



●もけらもけら

山下洋輔/文 元永定正/絵 福音館書店 天才ジャズ・ピアニストとモダンアートの鬼才 のコンビによる美しく面白いもう一つの宇宙。 心地よい言葉のリズムに合った絵の展開が不 思議な絵本の世界を作っています。

(1990年)

音・わらべ歌



●ととけっこうよがあけた

こばやしえみこ/案 ましませつこ/絵 こぐま社 げんきなにわとりさんが、みんなを起こしてまわります。わらべうたをもとにしたシンプルなストーリーを、絵で楽しく展開。赤ちゃんと一緒に楽しめるわらべうたの絵本。

(2005年)



●おせんべやけたかな

こがようこ/構成・文 降矢なな/絵 童心社 7枚のおせんべをならべて焼いていると、1枚ず つ焼き上がっていき…。 あかちゃんといっしょに 読んで、あそぼう。 読むだけで自然とリズムが生 まれる、楽しいわらべうたの絵本。

(2018年)



●えんやらりんごの木

松谷みよ子/文 遠藤てるよ/絵 偕成社 りんごの木の苗が大きな木となり、花をつけ実 がなった。赤くなったりんごはだれにやろ? 自然の中で生きる幼児の喜びをうたう。

(1978年)



●さよならさんかく

わかやまけん/さく 森比左志・わだよしおみ/文 こぐま社

「さよなら さんかく また来てしかく…」こんななつかしい言葉遊びを、"色"と"形"をテーマに、視覚的に展開させたユニークな絵本です。 (1977年)

音・わらべ歌



●あっぷっぷ

中川ひろたか/文 村上康成/絵 ひかりのくに にらめっこしましょ あっぷっぷ!! ママも赤 ちゃんも思わずぶははは。シンプルで洗練され た構成と絵で個々に楽しめる赤ちゃん絵本。 (2003年)



●あのやまこえてどこいくの

ひろかわさえこ/作者 アリス館 「ありさん ありさん どこいくの? あの山こえて 米粒買いに 米粒買ってどうするの? ぐうぐうねんねの枕にするの」3歳の娘を園に送り迎えする時、一緒に歌いながら生まれたというリズミカルな絵本。

(1993年)



●あっちゃんあがつく

みねよう/原案 さいとうしのぶ/作 リーブル あっちゃん あがつく あいすくりーむ いっちゃん いがつく いちごじゃむ…。うたって 嬉しくなるようなはやし歌においしそうな 絵をつけた、楽しい絵本。

(2001年)



●あめふりくまのこ

鶴見正夫/詩 高見八重子/絵 ひさかたチャイルド

おやまにあめがふりました。あとからあとから ふってきて、ちょろちょろおがわができました …。長年うたい継がれてきた童謡「あめふりく まのこ」の絵本。

(2009年)

音・わらべ歌



●じゃあじゃあびりびり

まついのりこ/作・絵 偕成社 じどうしゃ ぶーぶーぶー。 いぬ わんわんわん。 赤ちゃんが大好きなくるまやいぬなどの絵に合わ せてリズムよくくりかえされる音。音と一緒に絵本 を動かしながらよむと楽しいですよ。 (1983年)



●ころころころ

元永定正/さく・え 福音館書店 色々な色をした小さな玉が転がり出しました。こ ろころ、ころころ。動きを感じ、鮮やかな色の世 界を楽しむことができる赤ちゃん絵本です。 (1984年)



●ぞうさん

まど・みちお/詩 にしまきかやこ/絵 こぐま社だれもが一度は歌ったことのある、まどみちおの童謡「ぞうさん」を、にしまきかやこの明るく力強い絵で描きます。「象に生まれてよかった」という子象の嬉しさが伝わる楽しい絵本。 (2016年)



●うたえほん

つちだよしはる/え グランまま社 こもりうた、いぬのおまわりさんなど、 あかちゃんに、くり返し歌ってあげたいわらべ うた、童謡26曲。あたたかい絵とすべての歌 に楽譜がついています。

(1988年)

3~5歳 おすすめの絵本



●わたしのワンピース

にしまきかやこ/えとぶん こぐま社 うさぎさんがワンピースをつくりました。それを 着てお花畑をさんぽすると、ワンピースが花模様に…。次々とワンピースの柄が変わります。 (1969年)



●からすのパンやさん

かこさとし/作・絵 偕成社 いずみがもりのからすのまちのパンやさんは、 子どもたちの意見を参考にして、すてきな形の パンをどっさり焼きました。 (1973年)



●ぞうくんのさんぽ

なかのひろたか/作・絵 福音館書店 ぞうくんがさんぽの途中、かばくんとわにくん とかめくんに出会います。ぞうくんの背中にだ んだんに乗って歩こうとすると…「うわーっ」 「どっぽーん」! さてさてどうなるのかな? (1977年)

3歳~5歳



●わゴムはどのくらいのびるかしら?

マイク・サーラー/文 ジェリー・ジョイナー/絵 ほるぷ出版

ある日、ぼうやは輪ゴムがどれくらい伸びるか試してみることにしました。部屋から外へ、バスで、汽車で、飛行機で、輪ゴムはどんどん、どんどん、どんどん伸びで…。
(1976年)



●ほね

堀内誠一/さく 福音館書店 魚を食べると骨が残る。でもタコには骨がない。 もし、あなたのからだに骨がなかったら、あれ れ、立つこともできない。骨の働きを力強い絵と

文で描きます。 (1981年)



●かずあそび ウラパン・オコサ

谷川晃一/作 童心社

1はウラパン、2はオコサ、3がウラパン・オコサと数える、かずが二つしかない世界では、サルの顔には鼻がウラパン、口もウラパン、目と耳はオコサ、長ーいしっぽはウラパンです。 呪文のようなかずのおはなし。

(1999年)



●せいめいのれきし

バージニア・リー・バートン/文・絵 岩波書店 地球のうえでの生命の歴史。それは、序幕はあっても終幕のない、おおきなおおきな劇。銀河系 の誕生から現在のひとびとの生活までを、バート ンが美しい絵とリズムのある文で紹介します。

(1964年)

3歳~5歳



●とりかえっこ

さとうわきこ/作 二俣英五郎/絵 ポプラ社 遊びにでかけたひよこは、出会った動物たちと 次々になき声のとりかえっこをします。帰って きたひよこの声に、お母さんはびっくり! (1978年)



●どんなにきみがすきだかあててごらん

チビウサギとデカウサギは大の仲良し。「ぼくは きみのことこーんなに好きだよ」二匹は腕を広げ たり、背伸びしたり、飛び上がったり、どんなに相 手を好きか言い合うのです。絵もお話の進行も 終わり方もほのぼのした本。

(1995年)



●どうぶつ会議

エーリヒ・ケストナー/文 岩波書店 戦争や食糧危機などで、真っ先に犠牲になるのが子どもたち。不幸な子どもたちを出さないために、世界中の動物たちが国際会議を開催し…。地球からあらゆる紛争をなくそうという願いをこめた絵本。

(1979年)



●あくたれラルフ

ジャック・ガントス/さく ニコール・ルーベル/え 童話館出版

ラルフは、セイラのねこです。ラルフはとてもあくたれ。お父さんもお母さんも、ラルフのあくたれには、ほとほと困っています。それでも、セイラは、ラルフが大好き。ある日、家族でサーカスを見にいきました。

(1994年)

3歳~5歳



●おおきなかぶ「ロシアの昔話」

A・トルストイ/再話 佐藤忠良/画 福音館書店 おじいさんが植えたかぶが、大きなかぶになり ました。おじいさんは、「うんとこしょどっこい しょしとかけ声をかけてかぶを抜こうとします が、かぶは抜けません。おじいさんはおばあさ んを呼んできて…。

(1966年)



●わすれられないおくりもの

スーザン・バーレイ/さく・え 評論社 森のみんなが悲しまないように手紙を残し旅だ ったアナグマ!雪が積もる冬が過ぎ、春になっ てつらく悲しい別れを乗り越えるために、森の みんながアナグマとの思い出を語り合います。 アナグマが残してくれたものは・・・。

(1986年)



●100万回生きたねこ

佐野洋子/作・絵 100万回生まれかわっては、飼い主のもとで死 んでゆく猫。飼い主たちは猫の死をひどく悲し んだが、猫自身は死ぬのなんか平気だった。あ

講談社

る時、猫は誰の猫でもない野良猫となり、一匹 の白猫に恋をする…。

(1977年)



●うちゅうひこうしになりたいな

バイロン・バートン/作 佑学社 宇宙飛行士になりたい! スペースシャトルに乗 って、宇宙めざして飛んでいくんだ。夢がつま った宇宙飛行士の一日を描いた、シンプルで明 るい色彩の絵本。

(1993年)

1~2年生におすすめの本



●おさるはおさる

いとうひろし/作・絵 講談社 ぼくは、南の島のおさるです。みんなとのんび り暮らしています。ところがある日、カニがぼ くの耳をはさんでしまって…。ユーモラスなお さるの話。

(1991年)



●大きい1年生と小さな2年生

古田足日/著者 偕成社 からだは大きいのに泣き虫の1年生のまさやと、からだは小さくてもしっかりしている2年生のあきよ。ふたりの友情と自立の物語。 (1970年)



●たんたのたんけん

中川李枝子/さく 山脇百合子/え 学習研究社 八月二十九日はたんのたんたの誕生日です。と、 どこからかふしぎな地図がまいこみました。 矢 印や△じるしの書いてある、たんけん地図のよう です。 さっそく、たんたはたんけんに出発です。 (1971年)

1~2先生



●くまの子ウーフ

神沢利子/作家 ポプラ社 遊ぶこと、食べること、そして、考えることが 大すきなくまの子ウーフ。ほら、きょうもウー

大すきなくまの子ウーフ。ほら、きょうもウーフの「どうして?」が聞こえてきます。子どもたちに愛され、読み継がれてきた幼年童話の傑作。 (1969年)



●ぼくはめいたんてい①

マージョリー・w・シャーマット/作者 大日本図書世界じゅうで翻訳され、こどもたちに愛されつづけているシリーズ。第1弾は『きえた犬のえ』。めいたんていのネートはなかよしのアニーにたのまれて絵をさがすことに・・・。

(1982年)



●ごきげんなすてご

いとうひろし/作 徳間書店

あたしはりっぱな捨て子です。あたしを拾うとオトクです。子どものいないお金持ち、あたしをもらって下さいな! 弟ばかりかわいがるお母さんに反抗して家出した女の子。元気いっぱいの、愉快なお話。

(1995年)



●ももいろのきりん

中川李枝子/著者 福音館書店

るるこは、お母さんから部屋いっぱいになるぐらい大きな桃色の紙をもらいました。 るるこは大喜び。 さっそく、のりとハサミとクレヨンで大きなキリンを作りはじめました。

(1965年)

1~2先生



●落語絵本 じゅげむ

川端誠/著 クレヨンハウス 落語の中でもよく知られているお話を絵本に。 めでたい、長生きするという言葉をみんなくっ つけて、子どもに長ったらしい名前をつけた親。 急場になって我が子の長い名前を繰り返す。そ のバカバカしさが笑えます。

(1998年)



●おしいれのぼうけん

古田足日・田畑精一/作 童心社 さくらほいくえんにはこわいものが二つありま す。ひとつはおしいれで、もうひとつはねずみば あさんです。ある日、いたずらをやめなかったさ としとあきらは…。

(1974年)



●いつもちこくのおとこのこ

ジョン・パトリック・ノーマン・マクへネシー

ジョン・バーニンガム/さく あかね書房 ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー、おべ んきょうしにてくてくでかける。遅刻してしまう少年 と、そんな彼を厳しく罰する先生ですが…。

(1988年)



●すてきな三にんぐみ

トミー・アンゲラー/作 偕成社 宝集めに夢中だった、黒マントに黒帽子の3人 組の大盗賊。ひょんなことから孤児たちを集め、 すてきなお城をプレゼントしました。

(1969年)

1~2先生



●びゅんびゅんごまがまわったら

宮川ひろ/作 林明子/絵 童心社 大好きなあそび場をかけて、こうすけたちとあまの じゃくな校長先生はびゅんびゅんごま合戦をする ことに…。なつかしい遊びがたくさん出てきます。 (1982年)



●もりのへなそうる

渡辺茂男/著者 福音館書店 てつたくん、みつやくんの兄弟は、食いしん坊で 臆病、でもとてもやさしいへんな怪獣「へなそう る」と森の中で出会って、時のたつのも忘れて遊 びます。楽しいさし絵がいっぱいです。 (1971年)



●エルマーのぼうけん

ルース・スタイルス・ガネット/著者 福音館書店 年取ったのらねこからどうぶつ島に囚われているりゅうの子どもの話を聞いたエルマーは、助けようと冒険の旅に出発します。エルマーはりゅうの子どもを助け出すことができるのでしょうか? (1963年)



●はじめてのキャンプ

林明子/著者 福音館書店 なほちゃんは、大きい子たちにまざって、ひと りでキャンプに行きたいといいました。みんな は口ぐちに「小さい子にはできないよ! 」とい います。

(1984年)

3~4年生におすすめの本



●魔女の宅急便

角野栄子/著者 福音館書店

黒猫のジジを相棒にほうきで空に飛び立った 13歳の魔女・キキは、海辺の町で宅急便屋さん を開くことに…。落ち込んだり励まされたりし ながら、健やかに成長していくキキの姿を描く。 (1985年)



●こまったさんのサンドイッチ

寺村輝夫/作 あかね書房

こまったさんは花屋さん。サンドイッチをもってヤマさんとムノくんと一緒に山に行くことに。前の晩に、たまごにハムやチーズを用意して眠ったらねぼうをしました。あわてて、家をとびだすとまぶしい野原に…。さてどんなサンドイッチができたかな?シリーズ有。

(1987年)



●ルドルフとイッパイアッテナ

斉藤洋/著者 講談社

この物語の作者は、黒猫のルドルフだ。飼いねこだったけど、ある日、魚屋に追われて逃げこんだ長距離トラックに乗って、遠い東京まで来てしまった。ルドルフが出会ったのは、とてつもなく大きなトラねこ。

(1987年)

3~4先生



●がんばれヘンリーくん

ベバリイ・クリアリー/作者 学習研究社 ヘンリーくんは小学3年生。ごくふつうの男の子。ある日、やせこけた犬を拾い、こっそりバスに乗せて家までつれて帰ろうとしましたが、途中で犬があばれだして大騒ぎに…。 (1968年)

(1968年)



●セロひきのゴーシュ

宮沢賢治/作 福音館書店

ゴーシュは動物たちの助けをかりてセロの練習をします。「賢治を描いては最高」といわれる画家の絵をそえて1冊に仕上げられた、文学のすばらしい贈り物です。

(1966年)



●ふたりはともだち

アーノルド・ローベル/作 文化出版局 仲よしのがまくんとかえるくんを主人公にした ユーモラスな友情物語を5編収録。読みきかせにもふさわしいローベルの傑作です。小学校の教科書に採用されています。

(1972年)



●霧のむこうのふしぎな町

柏葉幸子/著者 講談社

水玉模様の傘を追いかけているうちに、リナは、 ふしぎな町へやってきた。森の深い緑の中に、赤 やクリーム色の家が6軒。ここが、リナの探してい た、霧の谷のめちゃくちゃ通りだった…。

(2006年)

3~4先生



●だれも知らない小さな国

佐藤さとる/著 講談社

1959年に自費出版後、同年講談社から出版されたファンタジー小説。同年毎日出版文化賞、1960年度児童文学者協会児童文学新人賞、国際アンデルセン国内賞を受賞している。

(1985年)



●ふしぎな木の実の料理法

岡田淳/作 理論社

こそあどの森に雪が積もっています。学者のバーバさんは南の島からスキッパーに小包を送りました。ポアポアの実。でも料理法がわかりません。お料理上手のトマトさんを訪ねました。(1994年)



●煮干しの解剖教室

小林眞理子/文 仮説社

料理のだしに使う、そのまま食べてもおいしい「煮干し」を解剖してみましょう。特別な道具がなくてもできる「煮干しの解剖」を通して、小さな魚の体のしくみが学べます。 (2010年)



●魔法のゆび

ロアルド・ダール/作 評論社

何かにカッとなると、右手の人さし指から突然 光線のようなものが飛びだす、「魔法のゆび」 をもつ少女。それは使っちゃいけないと決めて いた。でも隣の一家が銃で動物を撃つのを見て、 思わずカッとなり…。

(1986年)

3~4先生



●大どろぼうホッツェンプロッツ

オトフリート=プロイスラー/作 偕成社 おばあさんの大切なコーヒーひきを奪った大ど ろぼうを追って、2人の少年が大活躍! スリルとユーモアがいっぱいの傑作。

(1966年)



●はれときどきぶた

矢玉四郎/作 岩崎書店 明日は「はれ、ときどきぶたがふるでしょう」。 則安君が書いたでたらめの日記。ところが本当 にぶたが!大人気ベストセラー童話。

(1980年)



●長くつ下のピッピ

アストリッド・リンドグレーン/作者 岩波書店 町のはずれのボロ家に、小さな女の子がひとり で住んでいます。名前はピッピ・ナガクツシタ。 ピッピは世界一力持ちのスーパーガールなん です。

(1964年)



●火のくつと風のサンダル

ウルズラ=ウェルフェル/作 童話館出版 くつ屋のチムは、デブでチビでびんぼう。ほか の男の子になりたいと思ってしまうチム。でも たんじょう日に、お父さんはチムに「火のくつ」 という新しい名前と、すてきな冒険旅行をプレ ゼントしてくれました。

(1997年)

5~6年生におすすめの本



●モモ

ミヒャエル・エンデ/作 岩波書店 町はずれの円形劇場あとにまよいこんだ不思議 な少女モモ。町の人たちはモモに話をきいてもら うと、幸福な気持ちになるのでした。そこへ「時 間どろぼう」の男たちの魔の手が忍び寄り…。 (1976年)



●チョコレート工場の秘密

ロアルド・ダール/作 評論社 チャーリーが住んでいる町に、世界一広大で世界一有名なワンカのチョコレート工場がある。 そこへ、5人の子供たちが招待されることになって…。

(1972年)



●二分間の冒険

岡田淳/著者 偕成社

たった二分間で冒険?信じられないかもしれません。でもこれは、六年生の悟に本当に起こったこと。体育館を抜け出して、ふしぎな黒猫に出会った時から、悟の長い長い二分間の大冒険が始まります。

(1985年)

5~6先生



●ナルニア国物語 ライオンと魔女

C・S・ルイス/作 岩波書店 とびらをぬけて、壮大な空想の世界へ…。想像上の国「ナルニア」の誕生から滅亡までを描き、世界中で愛されてきた長編ファンタジー。新たに画家ベインズ自身の彩色によるカラーイラストを添えて刊行。06年映画公開。

(2005年)



●やかまし村の子どもたち

アストリッド・リンドグレーン/作 岩波書店 学校へ行ったり、お手伝いをしたり、遊んだり …。 豊かな自然の中で、毎日楽しく幸せに暮らす、やかまし村の子どもたちの姿を生き生きと描く。 原書初版のニイマンのさし絵と新訳でおとどけします。 シリーズ第1作。 (2019年)

●冒険者たち ガンバと十五ひきの仲間

斎藤惇夫/作者 岩波書店 イタチと戦う島ネズミを助けに、ドブネズミの ガンバと仲間たちは夢見が島へ渡りました。 獰猛な白イタチのノロイの攻撃を受け、ガンバ たちは知恵と力の限りをつくして戦います。 (1982年)



●床下の小人たち

メアリー・ノートン/作 岩波書店 イギリスの古風な家の床下に住む小人の一家。 暮らしに必要なものはすべてこっそり人間から借 りていましたが、ある日、その家の男の子に姿を 見られてしまいます。「小人シリーズ」第1作。 (1969年)



5~6先生



●西の魔女が死んだ

梨木香歩/著 新潮社

中学校に入ったばかりのまいは、学校へ行けなくなった。そして田舎のおばあちゃんのところへ行くことになった。畑や林、川や緑の山に囲まれて過ごす日々。西の魔女とはだれだろうか? (2001年)



●カラフル

森絵都/著 理論社

いいかげんな天使が、一度死んだはずのぼくに言った。「おめでとうございます、抽選にあたりました!」 ありがたくも、他人の体にホームステイすることになるという。ぐっとくる、ハートウォーミング・コメディ。

(1998年)



●夏の庭 The Friends

湯本香樹実/著 福武書店

おじいさんが僕たちに教えてくれたのは、心の中にしまっていた花の名前や花火の色、そして様々な記憶…。3人の少年と老人のかけがえのない夏を描く。

(1992年)



●ぜつぼうの濁点

原田宗典/作 柚木沙弥郎/絵 教育画劇 昔むかしあるところに言葉の世界がありまして、その真ん中におだやかなひらがなの国がありました。ところがある日の午下がり、道ばたに濁点のみが置きざりにされていて…。

(2006年)

5~6先生



●星の王子さま

サン=テグジュペリ/作 岩波書店

「たいせつなことはね、目には見えないんだよ …。」 80以上の国語に翻訳され、世界中で読みつがれてきたサン=テグジュペリの童話。 (1962年)



●ココの詩

高楼方子/著者 リブリオ出版 金色の鍵を手に入れ、初めてフィレンツェの街 にでた人形のココ。無垢なココを待ち受けてい たのは、名画の贋作事件をめぐるネコー味との 攻防、そして焦がれるような恋だった…。 (1987年)



●エーミールと探偵たち

エーリヒ・ケストナー/作 岩波書店 おばあちゃんをたずねる列車の中で、大切なお金を盗られてしまったエーミール。 ベルリンの街を舞台に、少年たちが知恵をしぼって協力し、犯人をつかまえる大騒動がくりひろげられる。

(1962年)



●精霊の守り人

上橋菜穂子/作者 偕成社 バルサが助けた少年は第二王子のチャグムだった。チャグムは100年に一度生まれる精霊を宿しているために、あらゆる者からねらわれていた。精霊が無事に生まれるとその100年は大きな災害や飢饉が起きないという。

(1996年)

各作品の著者・出版社等の情報は奥付を基にしています。現在流通している作品とは異なる場合があります。 令和2 (2020) 年7月発行 ©筑後市立図書館